

## 第5回信濃川水系流域委員会 議事概要

開催日時：令和4年2月16日（水）11:00～12:00

場 所：北陸地方整備局 5階 会議室 および各委員所属場所等

- 議事次第：
1. 開会
  2. 挨拶
  3. 出席者の紹介
  4. 議事
    - (1) 第2回部会 開催概要（報告）
    - (2) 河川整備計画変更（原案）に対するご意見について
  5. 閉会

### ○議事

#### (1) 第2回部会 開催概要（報告）

##### ①第2回信濃川水系流域委員会部会 開催概要（資料-1）

（委員長）

- 第2回信濃川水系流域委員会の上流部会、中流部会、下流部会がそれぞれ開催され、河川整備計画変更（原案）に対する意見聴取、4事業の事業再評価について「事業継続」とする対応方針（原案）が承認されたことの報告について、確認した。

#### (2) 河川整備計画変更（原案）に対するご意見について

##### ②河川整備計画変更（原案）に対するご意見について（資料-2）

（委員A）

- 上流部会でのタイムラインに関する記載の修正について、了解した。

（委員長）

- 住民の避難が正確に行われるためには、マイ・タイムラインの整備が重要であり、その作成主体はあくまで住民である。住民一人一人の意識が明確になり、それに基づいてタイムラインが主体的に作成されることが、実際の避難行動に結びつくベースとなる。今後ともそのような方向で様々な対策の普及等を図って欲しい。
- 河川整備に時間を要するという指摘について、河川整備計画は30年間というスパンで、段階的に進めていくものである。上流部、中流部の安全性の向上を図る上で、河口部の大河津分水路改修が極めて重要な事業である。
- 下流域の新潟市街地は河川周辺環境が都市環境であるという特徴があり、水辺利用などからの河川空間の構築が重要である。
- 3月1日から住民の意見聴取が予定されているが、委員会として是非住民からできる限り

多くの意見が寄せられることが望ましく、情報の提供に関してできるだけ住民にアピールできるような方策を実施して欲しい。

(委員 B)

- 流域治水を本格的に取り組まれるにあたり、治水に限らず流域の地域づくりと一体となった発想を今後打ち出して欲しい。また、本河川整備計画を進めるなかで、治水だけ、守りだけに留まるのではなく、より広い地域づくり全体の中で活かすという気概を、河川行政に関わる方々が持って進めて頂ければ有り難い。

(委員長)

- 今ほどの意見は、流域委員会そのもののスタンスとして重要な意見である。信濃川のような大河川の河川整備計画は周辺に様々な影響を及ぼすものであり、地域づくり、地域計画に及んでくるもので、計画を進めるにあたっては地域の今後を考えることが大事である。

(事務局)

- 流域治水の考え方として、流域全体で、流域の地域づくり等を含めた施策は非常に重要だと認識しており、しっかりと対応していきたい。

以上